2011 年
2 月号
No.052
2011 年 2 月 4 日発行

月刊
かわごえ環境ネット

2010
かわごえ環境ネット
10 周年　豊かな環境を未来へ

目次

【特集】2 月 19 日開催「かわごえ環境フォーラム」……2-3
会員・流域・関連団体の報告・予告（11 題）……4-9
理事会・専門委員会からの報告（3 題）……9-10
おしらせ・広報委員会から・イベントカレンダー…… 10-14

市民の「絆」がつながる「環境活動」

ごみゼロデーでは、子供も老人も

「新河岸川を守る会」の河川清掃

かわごえ環境ネットもスタートして 10 年たちました。川越市は環境先進市といわれています。太陽光発電設備は、小中学校をはじめ公民館や保育園などの公共施設に設置されました。市民の住宅向けの太陽光発電設備設置への補助金は、2008（平成 21）年度までに 1,619 件に達しました。さらに「エコチャレンジスクール」「エコチャレンジイベント」「エコチャレンジファミリー」などの環境意識の啓発へのアイデアを集めた「川エコの知恵」が進められています。

このような環境への市民の取組は、1970（昭和 45）年から始まった「新河岸川上流公害防止推進会」で、流域自治会を中心に河川浄化に取り組んだのが始まりでしょう。この会の活動が発展して「新河岸川を守る会」になりました。さらに県の「水辺再生 100 プラン」の事業に選ばれ、市民に親しまれる川への再生が進められ現在に至っています。

このような市民と行政との協働の取り組みをより発展させるために作られたのが「かわごえ環境ネット」でした。10 年前の発会式は、会場のやまぶき会館を満員にする市民が集まりました。私らも「夢」を持って参加したのを覚えています。次世代のために良い地球環境を引き継ぐために、今我々がやらなければならないことが沢山あります。

地域をあげての取り組み体制をとるにはどうしたらよいか。地域の「絆」を取り戻すきっかけは、高齢者の「ごみ出し」や分別を手伝ったりすることからはじめたらよいと思います。環境と福祉を結びつけて、住みよいまちづくりへ、市民の力と知恵を集めたいと思います。

川越市自治会連合会副会長　環境担当
兼新河岸川を守る会会長　岩澤　幸嘉

【特集】2 月 19 日開催「かわごえ環境フォーラム」

★設立 10 周年記念事業について

設立 10 周年記念シンボルマーク

かわごえ環境ネットは、1998（平成 10）年 3 月に川越市が策定した『川越市環境基本計画』の推進組織として 2000（平成 12）年 8 月 5 日に設立されました。協働（きょうどう）による環境活動を推進する組織として、市民・事業者・民間団体・行政が会員としてさまざまな活動に取り組んできました。今年度、168 会員（個人 104、民間団体 33、事業者 30、行政 1）をはじめとするみなさまのご理解、ご協力により、設立 10 周年記念を迎えることができました。

これを記念して、毎年開催している「かわごえ環境フォーラム」をメイン事業と位置づけ、2 月 19 日（土）に東洋大学川越キャンパス 学生ホール・食堂棟で設立 10 周年記念事業「かわごえ環境フォーラム」を開催します。今号では特集としてこの行事を詳しく紹介します。

なお、もう一つの設立 10 周年記念事業として、5 月に開催予定の総会において、（仮題）『川越の自然』を刊行します。川越における動植物などの自然が写真や地図をふんだんに用いてわかりやすく説明されています。校正中のサンプルを会場に置いて、出版に対する寄附を募ります。

★第 1 部　かわごえ環境活動報告会

（9:30 開会式、10:00-12:00 報告会）

歴代のかわごえ環境活動報告集

市民・民間団体・学校等が、これまで環境活動をしてきた成果を報告することで、活動の相互理解を図るとともに、協働による活動のきっかけづくりとなる「かわごえ環境活動報告会」を第 1 部として午前中に開催します。9:30 からの開会式に続いて、10:00 から 12:00 まで 9 件の報告が行われます。参加無料・事前予約不要となっています。お気軽にご参加ください。

この報告会は、今年で 9 回目となります。個人・団体における環境活動の成果を投稿してもらい、今回も「かわごえ環境活動報告集」として冊子にまとめて配布します。

発表順序・発表題目・発表者

1. 『自然と農業に触れるエコ体験―ふくはら子どもエコクラブ活動報告 2010―』 宮岡アイ子［ふくはら子どもエコクラブ］
2. 『雑木林の観察を通して林の再生に取り組んで』 過昌司
3. 『田んぼ発 いきいき地域づくり ―みなみかぜ いきいき田んぼの会のアルバム―』 後藤ゆかり［みなみかぜ］
4. 『温室効果ガス削減 25%（90 年比）、あなたの家庭は？』松岡壽賀子[ネットワーク"かけはし"川越]
5. 『地域活動を始めて』 三村正巳・小林久美［小畔川の自然を考える会］
6. 『EM による環境浄化活動』 上山巧・三重野義郎［EM クリーンクラブ］
7. 『エコマネー使用期間拡大が環境イベントにもたらす影響・効果に関する研究ーアースデイ・イン川越　立門前における社会実験ー』 角田拓也・中口毅博［芝浦工業大学］
8. 『まちづくりにおける情報システムの活用方法に関する研究』 中川邦昭・小瀬博之［東洋大学］
9. 『東洋大学川越キャンパスにおける電力使用量の推移及び環境配慮行動の周知に関する研究』 木村偉至・小瀬博之［東洋大学］

★昼休み

（12:00-13:00 食堂営業・展示会・午後受付）

ポスター・実物展示団体

1. みなみかぜ
2. ネットワーク“かけはし”川越
3. EM クリーンクラブ
4. 東京電力(株)川越支社
5. 川越市女性団体連合会（配布物があります）

昼休みは、会場となっている食堂が営業します。カレー（ポークとカツの 2 種類）、そば・うどん（天ぷら・わかめ・きつねの各 3 種類）で 8 種類のメニューを用意していますので、ぜひご利用ください。また、ポスター・実物展示を

同所で行っています。午後のかわごえカフェの受付も同時間帯に行いますので、午後から参加される方は、この時間帯にお越しください。

★第 2 部　すみたい街 かわごえカフェ
～みんなで語ろう環境・福祉・観光など～
（13:00-16:30、参加費 300 円、参加予約 2 月 9 日必着、当日参加先着 20 名）

「かわごえカフェ」の周知ポスター

かわごえ環境フォーラム第 2 部では、「すみたい街　かわごえカフェ」と題して参加者のみなさんと環境や福祉、観光などについて語りあいます。

参加者全員と話し合うのではなく、お茶やお菓子を食べながら、リラックスした雰囲気の中、メンバーの組み合わせを変えながら、4 人グループで 30 分程度の対話を 3 回行い、最後は、対話の内容を共有する全体セッションを行います。このような対話形式は、ワールド・カフェ形式といって、あたかも参加者全員が話し合ったかのような効果が得られることが特徴です。

今回のかわごえカフェでは、多様な方々がご参加くださいます。関心が高いテーマも多様ですので、話し合っていただくテーマを５つ－「環境」・「福祉」・「観光」・「教育」・「安全」－設定しました。例えば、「環境」といっても範囲が広く、地球環境、地域環境、自然環境、生活環境など様々あります。どの内容に焦点を絞るかは、メンバーで話し合っていく中で、自然と関心が高い分野に絞られ話が進んでいきます。福祉にしても、高齢者福祉もあれば、子育てや障害者など分野は多様です。皆さんの関心の高い分野について絞り、自由に語り合っていただきたいと思います。

かわごえカフェでは、はじめに、江藤善章さんによる講演およびパンフルートによるミニコンサートを行います。後の皆さんの対話に参考になるような話をしていただくと共に、やさしい音色を奏でるパンフルートの演奏で皆さんにはリラックスしていただきたいと思います。

是非、パンフルートの音色に癒され、和んだ場の中で、お茶を飲みながら“すみたい街”について語り合いましょう。素敵な出会いや気づきがあるかもしれませんよ。

講師　江藤　善章（よしあき）氏の紹介

福岡県北九州市出身。元大宮北高校社会科教諭（2010 年 3 月定年退職）。現在、韓国の木浦（モッポ）国立大学に留学中。今回の「かわごえカフェ」のため帰国してくださいます。

パンフルートを演奏する江藤先生との出会いは親子劇場でした。親子劇場のシステムは出演者と主催者である劇場の会員が一つのステージを作るため事前に話し合いを重ねます。パンフルートと聞いて「食べるパン」を使った演奏だと誤解をしていた会員もいる程珍しい楽器です。

こんな話し合いの中から江藤先生が、単なる演奏者でなく、伝えたいことを沢山持っていて、音楽を通して人との関わりを大事にして活動していることを知りました。

今回、基礎講演後のカフェにも参加してくださると聞き、とても楽しみにしています。

★第 3 部　設立 10 周年記念パーティー
（参加費 1,500 円、2 月 9 日までに申込、余裕がある場合当日受付）

立食形式、ノンアルコールのパーティーで、本会の設立 10 周年を祝います。さらなる交流の場となることを期待しています。

（以上、小瀬博之・飯島希・横山三枝子 記）

会員・流域・関連団体の報告・予告

Are You Ready? ー心と体は大丈夫ですかー

雑木林は冬。枯れ葉が落ちて、木もスリムになり太陽が地面まで差し込みます。コナラの群落の美しさと落ち葉の茶色が林の明るさを一層引き立て、一歩足を踏み入れるとカサカサとなんとも言えない音に季節の変化を感じます。晩秋から下草やアズマネザサを刈り取り、木枯らしが吹くのを待っていました。クロスジフユエダシャクが飛び終わると「くずはき」の季節が到来します。準備してきた熊手、シート、かごが出番です。ほこりにまみれ、鼻の中や長靴の中まで汚れ嫌われる仕事です。でも良いこともあります。それは健康が約束されます。冬に 1 年分の運動をします。きれいになった林には冬鳥が姿を見せます。そして春には可憐な花が咲き、苦労が報われ癒されます。

6 年前から、放置され荒れ果てていた雑木林を持ち主の許可を得て鎌で手入れをしてきました。初めはアズマネザサを刈り、常緑低木を切り取り、積もった落ち葉は堆肥として農家に運び、枯れ木を取り除き集めて燃やし、焼き芋を楽しみ味わってきました。この作業を 3,4 年繰り返すと人が入れ、キンランやスミレが見られる昔の林になりました。現在は林に進出してきた孟宗竹を伐採して元の位置まで戻しています。春にタケノコを採り、竹林の拡大を食い止めること 3 年目になりました。

最近、雑木林の再生の試みが行なわれています。伝統の知恵はもう経験者がいないので、再生は手探りの状況です。それに 60 年以上前と現在は状況が大きく異なっています。放置された林では落ち葉が積もり、常緑低木のみが繁殖し、草本類は少なくなっています。そのような中で、高木の伐採を行っては林床の破壊につながる恐れがあります。コナラを植樹しても前のように多様性が保たれるか疑問です。

自然再生には慎重さが求められ、昔は連続する雑木林に生息して、伐採地から避難していた動植物が新たな萌芽更新地に戻ってきていたのが、今は分断された林では戻る可能性が低くなっていることは明らかでしょう。コナラができれば雑木林であるというのは不十分で、生態系が保全しながら順応的な再生が今は求められていると思います。

（今福在住　個人会員：過昌司）

◆かわごえ環境ネット会員ブログ　メンバー募集中！

かわごえ環境ネットでは、本誌よりも素早く情報が掲載できる会員のためのブログを設置しています。会員であればいつでも記事を掲載できます。ユーザー登録をホームページでお願いします。詳しくは、かわごえ環境ネットホームページ http://kawagoekankyo.net をご覧ください。

里地里山法は平地林を救えるのか

里地里山の保全活動を促す「地域における多様な主体の連携による生物の多様性の保全のための活動の促進に関する法律」(生物多様性保全のための活動促進法：略して里地里山法）が昨年 12 月 3 日に成立しました。

この法律の目的は「生物の多様性が地域の自然的社会的条件に応じて保全され、地域における多様な主体が連携して行なう生物の保全活動を促進させること」となっています。

2008 年に生物多様性基本法が制定され、昨年名古屋市で COP10（生物多様性条約締約国会議）が開催されて、国内外で生物の多様性を保全する機運が高まってきている状況で、この法律が制定されたことは喜ばしいことです。

この法律が成立してから 1 年以内に、国は、“地域連携保全活動の基本方針”を定めなければなりません。そして、その方針を受けて、市町村は“地域連携保全活動計画”を作成するために市民参加の「協議会」を設置することができます。また、NPO は市町村に対して計画について案を提案することもできます。

どのような地域や自然が対象地域として指定されるかはこれからの基本方針にかかっていますが、川越農林振興センターに聞いてみると、「三富地域を始め平地林は概ねその対象になろう」と言うことで、(仮称）川越市森林公園予定地も十分にその対象地域と考えられます。

私達も川越市の地域連携保全活動計画の作成に協力して、協議会を設置して、生き物の多様性が保全される計画を作るために努力しなければなりません。この成否がこれからの平地林の保全・再生活動に大きな影響を与えることになります。上手に使いこなせるかがカギをなりましょう。

このほかに、平地林で林業施行を行っている場合は、森林法により相続税の 4 割が免除されることになります。下草刈り、くずはき、枯れ木の伐採などが行われ、JA に計画書を提出して、認められれば免除の適用となります。

このような制度を活用して地域の大切な自然である平地林を守ることができます。

今年、子どもエコクラブでの「くずはき体験」

（今福在住　個人会員：過昌司）

◆本誌への投稿を随時受け付けています　本会会員をはじめとして、川越における環境活動報告や主張などの記事をぜひお寄せください。写真の掲載も可能です。また、本会会員や関連団体等がこれから実施する公開イベント等の情報の掲載等も受け付けています。2011 年 3 月号（No.053，2 月下旬発行予定）の掲載原稿は、2 月 11 日（金）事務局必着です。電子データでいただけると助かります。詳しくは、かわごえ環境ネット事務局までお問い合わせください。

◆かわごえ環境ネット入会、今なら年度内会費無料です

本会は、川越市の環境に関する情報の提供や活動の場の提供、
そして実践活動を行っている環境パートナーシップ組織です。
この冊子を毎月お手元に届けます。ぜひご入会ください。
今入会いただいた場合、年度内の会費はいただきません。
環境政策課、フォーラム会場に詳しいパンフレットがあります。

「水と緑と伝統のまち川越 12 回探訪・ついでにクリーン」10 回目報告　クリーン&ハートフル川越

「水と緑と伝統のまち川越 12 回探訪・ついでにクリーン」の第 10 回目は、1 月 15 日（土）、JR 的場駅改札口に集まり、4 人で出発しました。駅の横に地元の有志が「的場」の地名の由来を書いた手製の解説板がありましたが、この地域一帯の歴史をまとめた資料板が欲しいと感じました。「的場」の名前の地域は、北は霞ヶ関駅北口から、南は入間川左岸まで広いこと、線路が戦前の軍の要請で短期間に一直線に作られたこと、北側の伊勢原町が旧帝国火工廠（火薬製造）跡地にできたこと、ハイキングをかねた北側の「御伊勢塚公園」と南側の「安比奈親水公園」、「牛塚古墳」などの周辺の遺跡紹介と、的場周辺の見所はいっぱいあるのにと感じました。因みに「的場」は戦国時代の弓矢の練習場だったと書いてありました。駅周辺の道路に吸殻などの散乱ごみが見られました。市内の駅の周辺は、美化重点地区に指定する必要がありましょう。

線路を渡って伊勢原新住宅地内を通りましたが、小公園などにポイ捨てごみが見られ、大通りの植え込みの回りもいっぱい隠れていました。拾ったごみを伊勢原公民館のごみ置き場に預かってもらいました。

ついで御伊勢塚公園に向かいましたが、公園内は清掃が行き届いていました。ゲートボール大会やウオーキングをする人でにぎわっていました。この公園に隣接した小畔川が、平成 23 年度の「水辺再生 100 プラン」に選ばれ、地元の意見を集められています。子供らに親しめる川への再生が期待されます。

関越道の手前で小畔川が南と北に分かれていますが、河畔の雑木で分岐がはっきりしませんでした。近くの用水路にはごみが溜まっていました。

笠幡地区の鎮守である尾崎神社の社務所に集めたごみを預かってもらいました。この神社は川越で最大の「社叢」といわれ、長い参道の両側に杉と檜の古木が太い根を張って競いあう姿は圧巻でした。市の解説書にも「静けさを求め、古木と対面ができる格好の社叢である」と書かれています。大事にしたいものです。

通りの生垣にサザンカが多いので「さざんか通り」といわれる通りに、市指定天然記念物の「さざんか」があります。邸内に入って当主の神田さんから温暖化で咲く時期が 12 月にずれていることや樹勢回復の工夫等の苦労を伺いました。この通りの先に浅間神社があり、10m くらいの築山が後ろにありました。雑木林や北小畔川と豊かな笠幡地区でした。

最後に延命寺に参り、入り口に生えるケヤキの大木を見ましたが、周りがコンクリートで覆われており、心配しながら笠幡駅に向かい、14 時半散会しました。

（武田侃蔵）

水辺再生で工事が始まる小畔川

小畔川土手に残る貴重な雑木林

樹齢を感じる「さざんか」の古木

御伊勢塚橋下の土手補強工事

古木が立ち並ぶ尾崎神社の参道

築山がある富士講の浅間神社

新河岸川の清掃活動

第 1 回清掃で集まったごみ

2 回目は多くの人が参加した

川べりに絡まったごみもきれいに

2010 年の秋のごみゼロ運動が台風予報で中止になり、市内の各地で放置ごみが目立ちました。新河岸川岸の土手や川べりにもごみが目につきました。11 月 16 日の新河岸川景観プロジェクト企画のサイクリングでも、土手から岸辺に絡まるごみが気になりました。

下流のふじみ野市の環境団体から 11 月 27 日に養老橋下流からの清掃をするので、上流の川越地区でもいっしょに実施してはどうか、と提案されました。共通の環境問題には市域を越えての取り組みと連帯が求められていますので、新扇橋から川崎端までの清掃を企画しました。

当日は、かわごえ環境ネット会員や地元自治会有志、前田建設工業社員などの協力で 2 時間にわたりごみ拾いをし、土手に上げたごみを地元自治会長が軽トラックで旭橋たもとに集めてくれました。これを翌日、市の収集管理課で収集、あわせて近くの駐車場に 2～3 年放置されたオートバイの残骸も回収してくれました。

しかし、参加した人らがまだまだいっぱい残っていて取りきれなかったとの感想が寄せられました。年末までにきれいにしようと再度の清掃を呼びかけ、12 月 19 日（日）に 2 回目の清掃をしました。前回を上回る 32 人が参加、川越県土事務所から借りた「つなぎ」を、前田建設工業の若い人が着て、水際まで降りてごみを集めました。前回では手が付けられなかった古タイヤやテレビなども回収しました。土手に上げたごみはまとめましたが、それでも 10 か所にわたりました。市の回収も 4 トントラックがやっと通れる土手での作業で大変でした。地元の人も今後の協力を約束してくれました。

（武田侃蔵）

湧水保全フォーラム全国大会 in ひがしくるめ

秋篠宮さまのお祝いのご挨拶

和光の「水と緑」などの活動展示

金沢さんも加わったシンポジウム

12 月 17 日（金）に、東久留米市の生涯学習センターで、秋篠宮殿下ご臨席で、第 7 回目の「湧水保全フォーラム全国大会」が開催されました。

東京都土木技術支援・人材育成センターの國分 邦紀氏による基調講演「武蔵野台地の地下水・湧水（水文学的考察の重要性）や、山形県遊佐町の特異な活動、埼玉県の環境科学国際センターの金沢さんが「ムサシトミヨ」に関する話題の提供など、湧水に関する様々な情報と活

動状況が発表されました。金沢さんの話のなかで、川越で地下水による試験飼育したが、本当は、かつて生息した湧水でぜひもう一度飼育したいとの発言がありました。龍池弁財天を指していることは確かですが、公式の場所で川越市に「ムサシトミヨ」を飼育したいと言われた意味は大きいと思いました。

活動展示会場は、「和光・緑と湧水の会」をはじめ、関東地区の自然環境団体を中心に、40 団体の熱心な活動紹介がありました。埼玉県では「ムサシトミヨ」の飼育水槽を展示し、きれいなパンフレットを用意していました。我々の湧水に対する取り組みがまだまだ足りないことを感じました。秋篠宮殿下は閉会まで会場におられて参加者の拍手を浴びました。（武田侃蔵）

「川の再生交流会」

埼玉県主催による「川の再生交流会」が、1 月 29 日（土）に埼玉会館で開かれました。午前中は活動発表と表彰、午後は①地域づくり、まちづくり、流域での取り組み②水質浄化③生きもの・生態系④環境学習・啓発⑤河川清掃など維持管理活動⑥川の国埼玉検定の分科会がありました。かわごえ環境ネットとして 7 人が参加して、各分科会に加わりました。3 月号に報告をまとめます。

（予告）「地域と河川生態系再生の道筋を探る」　荒川流域ネットワーク主催

2 月 13 日（日）13:00～16:30 に、日高市生涯学習センターで 2010 年度第 2 回の「みずかけ“サ”論」の名で、荒川流域再生シンポジウムが開かれます。「川の生産力復活に向けて」のテーマで、「2010 年度アユ遡上調査の結果」を埼玉県環境科学センターの金沢主任研究員が、「水辺再生 100 プラン南小畔川の取り組み」について川越県土整備事務所の鈴木課長が発表します。ついで「水質調査を生かす取り組み」のテーマで、環境カウンセラーの渡邉さんが「2010 年度の多摩川での水質調査事例からの提案」が発表されます。休憩の後、「市民による“公”とは?」で「みずかけ“サ”論」が開かれます。問い合わせは、荒川流域ネットワークの鈴木さん（携帯 090-7804-5722）までご連絡ください。
詳細（http://plaza.geic.or.jp/event/event_syo.php3?serial=24202）

（予告）「新河岸川・第 7 回川でつながる発表会」

荒川下流事務所主催の「第 7 回川でつながる発表会」が、2 月 13 日（日）に東京都北区赤羽の「荒川知水資料館」で 10:30 から 14:30 まで開かれます。今回は所沢市や東久留米市の小学校や中学校の生徒の川への取り組みが発表されます。新河岸川の下流の岩淵水門や新河岸川との合流点などの調査もあります。詳細は荒川河川下流事務所（03-3902-2311 調査課まで）

詳細は、国土交通省関東地方整備局（http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/arage_00000020.html）

（予告）新河岸川を一斉清掃

新河岸川広域景観プロジェクト連絡会で、3 月 20 日（日）に、川越市から和光市までの新河岸川流域で、桜の開花を前に、土手などのごみ拾いを一斉に取り組むことにしました。市民団体にひろく呼びかけて、新河岸川の景観改善に努めます。詳報は次号にて。

「成人式・会場クリーン活動」

川越市の第 62 回成人式が、1 月 10 日に総合運度公園内の体育館で開かれました。対象者は 3,455 人で、約 62%の 2,126 人が出席しました。11 年前から毎回、会場前の広場に集まる若者たちのポイ捨てごみを拾い、マナー向上を訴えてきました。移動式の簡易灰皿が昨年より多く用意されたので、吸殻のポイ捨ては大分減りました。しかし、15 時前でまだ広場に参会者が多数残っている段階でレンタル業者が灰皿を撤収してしまったので、ポイ捨て吸殻を拾う羽目になりました。退場を促す拡声器も早々と撤収され、残っている人への呼びかけができませんでした。年々マナーは良くなってきましたが、もう少しきめ細かい対応が必要でした。今年は本会会員が 14 人参加し、会場周辺の植え込みなどのごみ拾いも行いました。　（武田侃蔵）

近隣市等の活動：＜荒川右岸用排水組合＞里川づくりへ

川越は名の通り川に恵まれた土地でした。昔はといっても昭和のはじめまでは、新河岸川は伊佐沼の方に流れ、今の城下橋や琵琶橋のところは掘割のようなものでした。

今の伊佐沼は、周辺整備で 3 割ほど狭くなりましたが、食糧増産の至上命令で耕地整理、用水路整備と水田地帯の整備が進められ、その後の管理が「荒川右岸用排水土地改良区組合」で県の農林部の監督を受けています。現在、埼玉県の「水辺再生 100 プラン 3 年計画」の 2 年目で、護岸をコンクリートから自然型の護岸への改良工事をし、2 月 13 日に周辺自治会なども参加して草刈やごみ拾いを行います。（武田侃蔵）

理事会・専門委員会からの報告

理事会

第 10 回理事会を 1 月 25 日（火）9:00-10:10 に、川越市役所 7C 会議室で開催しました。主な議事は次のとおりです。

川越環境保全連絡協議会主催の新春講演会の後援名義使用を許可しました。

ホームページレンタルサーバとドメイン登録の今後 1 年間の費用支出を承認しました。年間で 7,250 円となります。

設立 10 周年記念事業の報告がありました。（仮題)『川越の自然』の寄附金及び編集の状況、かわごえカフェの申し込み状況について報告がありました。

3 月に理事と主要メンバーで拡大企画会議を開催すること、総会を 5 月に開催し、併催行事として（仮題)『川越の自然』出版記念の講演を企画することを申し合わせました。（小瀬博之）

設立 10 周年記念事業実行委員会

2 月 19 日の「かわごえ環境フォーラム」に向けて準備を進めています。1 月 14 日（金）11:00-12:00 と 1 月 25 日（火）10:30-12:00 にかわごえカフェ企画会議を、先のワールド・カフェ・サロン主要メンバー6 名で開催し、「かわごえカフェ」の進め方について具体的に検討しました。また、1 月 27 日（木）の実行委員会は、会場となる東洋大学川越キャンパス学生ホール・食堂棟で開催し、会場配置や音響、映像などについて具体的に検討しました。

記念出版については、おかげさまでたくさんの寄附金をいただいております。5 月の総会の出版に向けて校正を進めています。2 月 19 日のかわごえ環境フォーラム会場まで寄附金を募集していますので、みなさまのご協力をお願いいたします。　（小瀬博之）

社会環境部会

1 月の例会は、12 日（水）に参加者 10 名で行われました。集大成のかわごえ環境フォーラム活動報告集・部会関係記事は、環境施設めぐりをはじめ、各グループの積極的な活動により 20 ページほどになりました。かわごえカフェには多くの参加をお願いするとともに「川越の自然」記念誌の寄付については、内容に対する期待もあり部会当日だけで 9 名、34 口集まりました。また、地元のグループにも声をかけこれからもかなり集まる見通しです。

部会では、毎回、月刊かわごえ環境ネットのおさらいをしております。今月は、理事長の巻頭言もあり 12 月 23 日（日）に東洋大学の学生 48 名が参加した中心市街地まち美化活動など豊富な記事の一端にふれました。

1）地球温暖化対策グループ

・冬のエコライフ DAY チェックシートを 1 月末までに提出するよう会員にお願いしました。特に、シート 1 枚で 5 名までかけるので家族や会員に参加するようお願いしました。

・夏のチェックシートの参加者の集計では、埼玉県ベスト 10 の第 7 位でした。

・斎藤さんより、我が家の環境家計簿・12 か月の CO_2 排出量集計について説明がありました。

2）環境保全･資源化推進グループ

・2 月 3 日（木）に資源循環推進課と協働実施する久喜・宮代堆肥化センター視察の参加者要請を行いました。行政から 3 名、環境推進員から 3 名､かわごえ環境ネットから 10 名あまり参加予定としております。

・南小畔川再生活動については、これからいかに活用するかが大きな課題であり、地元自治会と連繋して推進していきたいと思います。

3）まち美化活動グループ

・先般の成人式における清掃活動には、14 名の参加者がありました。会場になった川越運動公園周辺のごみが、昨年よりだいぶ少なくなりました。また、中心市街地の清掃活動の詳細報告がありました。

4）その他の議題

3 月末までに行う、講演会・勉強会あるいは視察・見学会の実施について、意見交換を行いました。

（社会環境部会代表　原嶋昇治）

おしらせ

【再掲】（仮題）『川越の自然』発行に対する寄附のお願い

本会では、設立 10 周年記念事業として、（仮題）『川越の自然』（A5 版フルカラー167 ページ予定）を 5 月の本会総会時に刊行する予定です。川越で見られる動植物などを地区ごとに写真と地図を用いてわかりやすく解説しており､今後、川越で自然観察をする方必携の本となります。また、現在の川越の自然を後世に伝える記録としての側面も持っています。

この出版事業は、財団法人日野自動車グリーンファンドの助成をいただいて出版するものですが､出版には多くの費用がかかることから､1 口 1,000 円で個人及び事業者からのご寄附をいただいて、冊子に芳名及び貴社名を掲載するとともに、1 口あたり 1 冊を進呈するものです。

寄附につきましては､2 月 19 日に実施されるかわごえ環境フォーラムの会場まで実施することになっており、それまでに社会環境部会や自然環境部会等の会合においても理事等がご案内申し上げます。また、かわごえ環境ネット事務局窓口（川越市役所本庁舎 5 階、環境政策課窓口）でも受け付けております。

本件についての問い合わせは、かわごえ環境ネット事務局（Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800,E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp）までお願いいたします。

かわごえ環境ネット主催行事一覧（記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください）

◆設立 10 周年記念事業実行委員会（第 11 回）

日時：2 月 7 日（月）9:30-11:30

場所：川越市役所本庁舎 7C 会議室（川越市元町 1-3-1）

◆広報委員会（2011 年 2 月度）

日時：2 月 8 日（火）8:30-9:30

場所：川越市資源化センター事務所側 2 階会議室（川越市鯨井 782-3）

●社会環境部会（2011 年 2 月度）

日時：2 月 9 日（水）15:00-17:00

場所：川越市役所本庁舎 7G 会議室

次回は 3 月 9 日。4 月からは毎月第 2 金曜日の 13:00-15:00 開催となります。

●自然環境部会（2011 年 2 月度）

日時：2 月 18 日（金）15:00-17:00

場所：川越市役所本庁舎 7G 会議室

毎月第 2 金曜日開催で、次回は 3 月 11 日。

◆設立 10 周年記念事業実行委員会（第 12 回）

日時：2 月 18 日（金）15:00-18:00

場所：東洋大学川越キャンパス 学生ホール・食堂棟 1 階学生食堂（川越市鯨井 2100）

会場設営。出展団体は搬入可能です。

★設立 10 周年記念事業 かわごえ環境フォーラム「環境活動報告会」「すみたい街 かわごえカフェ」「設立 10 周年記念パーティー」

日時：2 月 19 日（土）9:30-19:00

場所：東洋大学川越キャンパス 学生ホール・食堂棟 1 階学生食堂

＜交通について＞鶴ヶ島駅東口から徒歩で来られる方へ：駅最寄りの新西門は工事のため入れません。旧西門へ迂回して構内にお入りください。車でお越しの方へ：南門入口の掲示または南門守衛所の指示に従って駐車場までお越しください。

◆理事会（2010 年度第 11 回）

日時：2 月 25 日（金）9:00-10:30

場所：川越市役所本庁舎 7 階 7G 会議室

★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査

日時：3 月 15 日（火）9:30-12:30

場所：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

事前連絡はいりません。＜前号訂正＞2 月の調査は、一般募集はありません。

会員・関係団体の主催行事

●川越環境保全連絡協議会

申込・問い合わせ：川越環境保全連絡協議会（川越商工会議所内、Tel.049-229-1840, Fax.049-225-2101）

☞新春環境講演会 走れコウタローが語る「ぼくのエコロジーライフ」

◆2 月 16 日（水）15:00-16:30（受付 14:30-）

講師：山本コウタロー氏

会場：クラッセ川越 6 階（川越市菅原町 23-10）

※駐車場が狭いため、お車でのご来館はご遠慮ください。

定員：200 名

※定員になり次第締め切ります、入場無料

主催：川越環境保全連絡協議会

後援：川越市・川越商工会議所・かわごえ環境ネット・川越狭山工業会

●ボランティアサークル　ハーモニー（武州ガスグループ社内サークル）

申込・問い合わせ：武州ガス(株)総務企画部 堀田（Fax.049-242-0778, Tel.049-241-9590）

☞河川環境講演会（無料）

◆2 月 22 日（火）13:00-15:00（予定）

場所：武州ガス(株)本社 4 階大会議室・食堂（川越市田町 32-12）

＊来客用の駐車スペースが少なくなっておりますので、お車での来場はご遠慮下さい。

講師：山崎充哲氏（「おさかなポストの会」代表・「ガサガサ水辺の移動水族館」館長）

＊多摩川清流復活に奔走し、以後、水辺の安全教育・自然環境教育・魚の飼育を通しての情操教育等に尽力。移動水族館やおさかなポストの会など次々と発案し管理・運営。また、講演や環境紙芝居などを通して、生き物の命の大切さを語る。子どもの水難事故防止のため、水辺の安全教育も精力的に活動。「どうぶつ奇想天外」などテレビ出演も多数。

内容：川や自然から学ぶ「命のたいせつさ」～ガラスの地球　守るのは私たち～

申込期日：2011 年 2 月 10 日（木）

＊山崎氏の講演に先立ちまして、当サークルより「入間川水系治水の歴史」について発表をさせていただきます。
＊本講演会は「武州・入間川プロジェクト」の助成対象活動です。

●福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

☞おいしく・楽しく農業体験

◆2 月 12 日（土）9:30 からの作業

雑木林の手入れ

◆3 月 12 日（土）9:30 からの作業

雑木林の手入れ、あそぼうパン、スープ

集合：明見院（川越市今福 677）

クラブ会費：1 家族 1,000 円（保険代・備品代等）、クラブ員でない参加者は 1 人 100 円（保険代）とします。

●特定非営利活動法人
武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.049-224-9118）

☞森林公園かんさつ会

公園南口休憩所 10：20 頃集合、15：00 頃迄 参加費 200 円、入園料大人 400 円、65 歳以上 200 円。昼食、観察用具、雨具持参。雨天決行。

◆2 月 13 日（日）・16 日（水）当会主催

見所：ルリビタキやジョウビタキなどの野鳥と冬越しの昆虫を観察します。植物の解説は太田先生です。

◆3 月 24 日（木）当会主催

トウキョウサンショウウオの生息地や水辺の生き物を観察します。アマナ、アオイスミレの花も見ごろです。植物の解説は太田先生です。

●クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：武田侃蔵（Tel.090-2521-5770, Fax.049-222-0786）

☞「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

1. 第 1 火曜日・第 3 木曜日（13:30-15:00）

◆2 月 1 日（火）・17 日（木）

◆3 月 1 日（火）・17 日（木）

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

2. 第 2 日曜日（9:30-11:00）

◆2 月 13 日（日）・3 月 13 日（日）

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

3. 第 4 土曜日（13:30-15:00）

◆2 月 26 日（土）・3 月 26 日（土）

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

4.「水と緑と伝統のまち川越 12 回探訪・ついでにクリーン」第 11 回

◆2 月 12 日（土）9:00-15:00

2 月は、第 2 土曜日に行います。9 時 JR 西川越駅改札集合、最明寺、川越水上公園、入間川右岸緑地、池辺公園、市民の森 8 号地、川越総合卸売市場、旧赤間川、入間川右岸、増形緑地、旧安比奈線廃線跡、南大塚駅 15 時解散予定。参加希望は 2 月 10 日までに武田（Tel.090-2521-5770）まで連絡を。

●(財)埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）

☞伊佐沼探鳥会

時間：10:00 集合-12:00（小雨決行）

集合：伊佐沼の西側にある東後楽会館入口近くの蓮見橋

持ち物：筆記用具、あれば双眼鏡

参加費：300 円、高校生以下 100 円

（保険料・資料代として）

◆2 月 13 日（日）

一番寒い時期ですが鳥達は元気です。北の国や、山にいた鳥は寒さを逃れ、里で冬を過ごします。それを狙ってワシやタカの仲間が現れます。温かい服装で参加ください。終了後、ご希望の方は農業ふれあいセンターへ。13：00 から「河川環境講習会」の講義を行います。続いてご参加下さい。12 月に続いての催しです。

◆3 月 13 日（日）

伊佐沼の「水辺再生工事」の 2 年目も今月末で終わります。生態系によい結果が期待されます。春もそこまで来ています。鳥はさえずりを始め、野草も芽を出してつぼみが膨らみ、花が咲き出します。早い春を楽しみましょう。

☞「河川環境講習会」

◆2 月 13 日（日）13:00-15:00

（内容訂正）2 回目の催しで、前回の 12 月は入間川菅間堰近くの河原の環境調査と研修を行い、合わせてごみ（テグス）拾いを行いました。今回は室内研修で、近くの農業ふれあいセンター会議室で 13 時から行います。この事業は、埼玉県生態系保護協会 川越坂戸鶴ヶ島支部が、武州ガスの助成事業として企画しました。

広報委員会から

●編集後記

◆設立 10 周年のメインイベントとして、2 月 19 日に東洋大学川越キャンパスを会場に、かわごえ環境フォーラム「すみたい街 かわごえカフェ ～みんなで語ろう環境・福祉・観光など～」を開催することは、すでに 2～3 ページにお伝えしたとおりです。

本会では、これまで 6 月から 6 回にわたって「小江戸のエコを語り合うワールド・カフェ・サロン」を開催し、練習をしてきました。この結果報告は、すでに本誌に掲載してご存じの方もいると思いますが、参加してみないと、その独特の雰囲気を知ることはできないでしょう。

初対面の人が多い会場で、多人数の前ではなかなか話せないことも、4 人単位でテーブルを囲んで喫茶を楽しみながらであれば、不思議と気軽に話すことができます。このような機会はありそうでなかなかないことです。

この取組は、社会で求められている環境コミュニケーション能力を高めるために必要なことと考えています。100 名定員としていますが、会場はたくさんの人数を受け入れられます。あなたも参加して語り合いませんか？（こせ）

◆今年の冬は、北陸・山陰地方が豪雪におそわれ、交通の大渋滞の姿が報道されました。それとともに、高齢者の雪下ろしにともなう死亡事故が１００人を超えたと伝えられています。１人暮らしや老人だけの家での悲劇のようです。片や関東を中心とした表日本は干天つづきで、野菜などの生育が心配されています。平年より寒い日もあり、昨年夏の暑さで話題となった「地球温暖化」の反動のようなこのごろの気候です。その暑い盛りのときは、クーラーなしで熱中症で亡くなった悲劇が報じられました。気候変動に弱い高齢者の見守りが必要です。いま、「孤族」という言葉が新聞で特集されています。

本号の巻頭言で「コミュニィティの絆」を強めるきっかけは、身近なごみ出しやごみ分別などの環境活動から始まるのではないかとの提言がありました。自治会の活性化に努められている人たちの実感だと思われます。

気候の変化からごみまでを話題にし、私らを取り巻く環境の諸問題を切り口に、子供も老人もともに住みやすいまちづくりの知恵が生まれます。連帯の「絆」が繋がるような役割をかわごえ環境ネット会員が担いたいものです。(TK)

イベントカレンダー（2 月 6 日～3 月 30 日）

日	月	火	水	木	金	土
2/6	7 ◆9:30 設立 10 周年事業実行委員会	8 ◆8:30 広報委員会	9 ●15:00 社会環境部会	10	11 建国記念の日	12 ◎9:00 水と緑と伝統のまち川越 12 回探訪・ついでにクリーン ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
2/13 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼探鳥会+13:00 河川環境講習会&入間川クリーン作戦 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 ◎10:30 川でつながる発表会 ◎13:00 荒川流域再生シンポジウム	14	15	16 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 ◎15:00 新春環境講演会 走れコータローが語る「ぼくのエコロジーライフ」	17 ◎13:30 まち美化啓発運動	18 ●15:00 自然環境部会 ◆15:00 設立 10 周年事業実行委員会（会場設営）	19 かわごえ環境フォーラム ★9:30 開会式・環境活動報告会 ★13:00 すみたい街 かわごえカフェ ★17:00 設立10周年記念パーティー
2/20	21	22 ◎13:00 河川環境講演会（無料）	23	24	25 ◆9:00 理事会	26 ◎13:30 まち美化啓発運動
2/27	28	3/1 ◎13:30 まち美化啓発運動	2	3	4	5
3/6	7	8	9 ●15:00 社会環境部会	10	11 ●15:00 自然環境部会	12 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
3/13 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼探鳥会	14	15 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査	16	17 ◎13:30 まち美化啓発運動	18	19 ◎9:00 水と緑と伝統のまち川越 12 回探訪・ついでにクリーン
3/20 〇新河岸川流域一斉清掃	21 春分の日	22	23	24 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	25	26 ◎13:30 まち美化啓発運動
3/27	28	29	30	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください。		

月刊 かわごえ環境ネット 2011 年 2 月号 No.052

発行日　2011 年 2 月 4 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/